



編集・発行 邑楽町役場企画課

〒370-0692(住所記入不要)

☎0276-88-5511(代表)

☎0276-47-5007(企画課直通)

☎0276-89-0136

http://www.town.oragunma.jp  
✉koho@town.oragunma.jp

〈第六十回〉

若い人たちに語り継ぎたい、  
次の世代に残しておきたい。  
貴重な話をお届けしますー。

## あすへひとこと

いつの時代までも残したい

### 邑楽町の昔ばなし



高源寺は安政初年(1854)と明治元年の2度火事がありました。今は、  
本堂も山門も新しくなり、春には町の桜の名所になっています。

### 高源寺の火事とその後

狸塚たしかげ高原の長良神社の北東の小高い見晴らしのよい場所に、集落を見下ろしているように薬王山高源寺があります。伝えによりますと寛文4年(864)茂林寺の第十五代・洞岩どうがしん正しょう庵あん和尚が開いたのが初めといわれます。

長い年月にはいろいろ移り変わりがありましたが、明治元年11月20日、庫裏から出火し大火事になり、本堂に燃え移り三日三晩燃え続けたそうです。

これがため、寺は全焼、寺の宝はもちろん、過去帳まで燃え失せてしまったそうです。古い記録がないので狸塚の歴史をたどる手掛かりもありませんが、江戸末期には狸塚に二つの寺がありました。

焼けた曹洞宗派の高源寺が西にあるのに対し、東に真言宗派の蓮蔵院がありました。村人は高源寺を上うへの寺、蓮蔵院を下したの寺と呼んでいました。蓮蔵院には建物と墓地はありましたが、寺は故あって廃寺になっていました。

高源寺の檀家の人たちは蓮蔵院の阿弥陀堂と阿弥陀様だけを残して建物をはじめ、仏像仏具一切を高源寺に運び移してしまっただけです。

ただ十九夜様、二十三夜様の石塔は蓮蔵院に最後まで残った檀家の墓と一緒に

現在も蓮蔵院跡地にあります。わずか八量と四畳に台所という阿弥陀堂は空き家になっていましたが、どこから来たか子どものない中山吉兵衛という夫婦者が住み着きました。この夫婦はあめ屋を生業としていました。

ブリキの缶の中で固くなったあめを引っ張って、手つばきをつけて伸ばし、小さな竹棒に絡めて一個一銭で売っていました。十九夜様のお祭りのときなど、子どもたちがござって、このあめを買ってもちがなめていました。

それは80年以上前の話ですが、その後も幾人かの人が入れ替り住んでいました。何でも酒飲みの人が、こともあろうに阿弥陀様を酒代にして飲んでしまったとか。

その後、昭和30年の4・5月ごろに、お堂も取り壊されて、今は施主の現存する数軒分の墓地だけが在りし日のごとごとを秘めています。



蓮蔵院は国道354号北にあったそうです。現在は二十三夜様と墓地だけが残っています。

【発行】邑楽町老人クラブ連合会 【編集】あすへひとこと編集委員会  
平成10年12月31日発行「高齢者の語り(第六集)あすへひとこと」より



シルエツト  
(シンボルタワー)



Photo 高根澤高明(記録ボランティア)

### ひとりごと From editors

▶和歌山。今月号に掲載したくて、印刷会社に締切日を延ばしてもらいました。嫌な顔一つせず、日程調整してくれた印刷会社に感謝×2です。▶ちまたで流行の「何とかGO」なるゲーム。その「何とかGO」は欲しいモンスターやアイテムを探し出してゲットしていくゲームだそう。社会を巻き込むほど話題をさらう「何とかGO」…恐るべし。▶ところで広報おうらは、生活に必要な情報や町の出来事を形にしたものです。「何とかGO」なるゲームに夢中になるのもいいのですが、毎月1回発行の広報おうら「〇〇〇号」も忘れずチェックしてください！皆さんの生活に必要な何かをゲットできるはずですよ。▶締切日を延ばせたことでココに書いた、もう一つの話……お父さんになりました！本澤が!!!(深澤)

邑楽町携帯サイト  
2次元コード対応の携帯電話は、右のコードをご利用ください。読み取りができない場合はURLをご入力ください。  
携帯用URL <http://www.town.oragunma.jp/k>



この広報誌は、自然保護のため  
植物油インキを使用しています。